令和７年度　ＦＦＪ環境調査について

日本学校農業クラブ連盟

環境調査評価委員会

（１）調査テーマと調査対象種

“タンポポ調査”～第２弾～「在来種を探そう」

○調査対象種：シロバナタンポポ、黄花系在来種、外来種（雑種を含む）

（２）目 的

環境調査の主旨とこれまでの歩みを尊重し、調査初代のテーマであるタンポポの調査に再度取り組むことで、平成１２（２０００）年から今日までの間にどれほど外来種の分布や環境が変化してきたかを探究することが本調査の最大の目的である。そのため、令和７年度も継続してタンポポの分布調査テーマとし、各都道府県の分布図が完成することを目標とする。

また、本調査は全国４９連盟・約７万５千人の農業クラブ員ひとりひとりが比較的簡単に楽しみながら取り組める活動であり、身近な植物であるタンポポにも多くの種類、在来種や外来種（雑種を含む）の特性やその見分け方があることなどに興味をもたせ、主体的な調査活動を通してクラブ員の科学性や環境問題について考える力などをはぐくむことを期待している。

（３）基本方針

①タンポポの全国分布図が完成するまで、タンポポ調査を行うこととする。

②外来種であるセイヨウタンポポとそれらの雑種がほぼ全国的に広まっていることが推測されており、在来種と判断できるものが全国でどれだけ発見できるかを確認する。

③調査を通してタンポポの生態や品種の見分け方に関する内容を理解し、花粉の観察や種子形成を確認することで、できるだけ正確に在来種および外来種（雑種を含む）の判断を図る。

④過去のＦＦＪ環境調査「タンポポ調査報告書」のデータと比較検証し、在来種および外来種（雑種を含む）の推移を確認する。

⑤調査結果に関しては、環境省等の関係機関と連携を図り、活用していくこととする。

（４）調査方法について

日連ＨＰの『環境調査』から「令和７年度環境調査について」、「令和７年度環境調査の手引き」、「個人調査票２０２５」、「環境調査集計表２０２５」をダウンロードしてください。調査方法の詳細は「令和７年度環境調査の手引き」に記載してあります。よくお読みいただき調査をお願いします。

（５）調査期間

令和７年　１月　６日（月）から　８月　１日（金）

（６）日連への提出について

**①提出期限：令和７年１１月７日（金）　必着**

②提出先：jimu@natffj.org

③提出ファイル名：「県連番号 県連名 環境調査2025」　例：01 北北海道連盟 環境調査2025